

見える化共通入力フォーマット Ver2.4の改良点

以前に作成した見える化共通入力フォーマットのデータの取り込む機能を使用すれば、最新バージョンに移行することができます。

見える化運賃ファイルは、従来のバージョンのファイルをそのまま使用できます。

1) GTFS-JPデータ出力形式の追加

「従来のGTFS-JP」の形式では、Googleの審査が通らない事例がありました。
経路(route)を、系統ごとではなく、系統を束ねた「系統統合形式」の出力ボタンを追加しました。

2) シート名の変更 「02自治体」シート→「02基本情報」シート

3) シート名の変更 「03事業者」シート→「03営業所」シート

4) 「04系統シート」に項目追加

この資料は「公共交通利用促進ネットワーク」が作成

2020年5月26日現在

1) GTFS-JPデータ出力形式の追加

10)『GTFS-JP』データを作成する場合

9で作成した運賃入力ファイルが必要です。
このボタンを押すと、GTFS-JPデータが作成されます。

新たな出力
形式を追加

系統統合形式のGTFS-JP
データを出力できるようになりました

従来の形式で出力
する場合はこちら

GTFS-JPデータを作成(系統統合形式)

作成日時

従来形式のGTFS-JPデータを作成

提供終了日 指定しない場合は1年間となります

解説

経路の描画データを作成する ☐ shapes.txtを作成する場合○印を記入

解説

GTFS Validator

GTFS TestViewer

新たな出力形式「系統統合形式」を追加しました

Google Mapsで公開前の審査において、以下のように指摘を受けることがあります

単一経路 (route) を複数の経路として分けて定義いただいた際に検出となるエラーでございます。

単一経路における上下線や、旅程により停車する停留所が変わるなどといった際には、*route_id* や *route name* などの *route.txt* で分けずに、*trip_id* などの *trip.txt* 内の定義にて区別いただく必要がございます。

「系統統合形式」は 上下線や経路の違いにより *route.txt*でわけない方法で出力するようにしました。

※04系統シート、路線シートの入力は、従来どおり 系統単位で運行系統idを付番する方法にて入力してください。

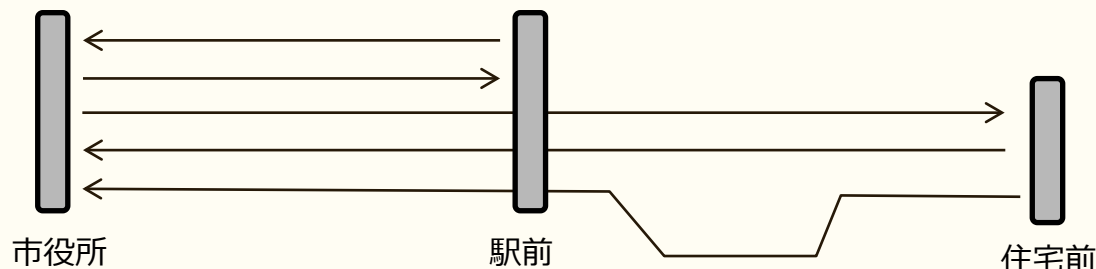


● 参考資料

「従来形式のGTFS-JP」と「系統統合形式GTFS-JP」の違い

東西線

路線番号10 運行系統ID 101001
運行系統ID 102001
運行系統ID 101002
運行系統ID 102002
運行系統ID 102003



「従来形式のGTFS-JP」

運行系統IDごとに経路データ(route)を作成

route 101001 東西線
route 102001 東西線
route 101002 東西線
route 102002 東西線
route 102003 東西線

「系統統合形式GTFS-JP」

途中止まり、経路違い、往路・復路を区別せず
路線番号10として経路データ(route)を作成

route 10 東西線

経路違いごとに「検索結果に表示したい名称」を変えた場合は、「検索結果に表示したい名称」ごとにデータを作成

route 10 東西線
route 10B 東西線（直行）

Q)どちらの形式を使用すればよいですか？

A)基本的には「系統統合形式GTFS-JP」を使用すればOKです。

バスロケーションシステム、デジタルサイネージなどの連携される場合は、メーカーへお尋ねください。



● 2) シート名の変更 (1) 02基本情報

項目	データ			
事業者・自治体名	〇〇市			
事業者名・自治体名かな	まるまるし			
事業者名・自治体名英語				
部署名	交通政策課			
担当者名	〇〇XX			
電話番号	000-111-2222			
連絡先メール	kotsu@xx.city.lg.jp			
路線図、時刻表URL	http://www.xx.city.lg.jp/bus/	時刻表が掲載されているページ		
運賃情報URL		乗継券制度、高速バスの予約ページなど		
法人番号	1234567890123		法人番号を調べる	
交通種別	バス			
提供組織名	〇〇市	通常は事業者・自治体名と同じで良い		
提供組織URL	http://www.xx.city.lg.jp/	組織のトップページ	事業者・自治体名、URLをコピー	

▶
メニュー
01更新履歴
02基本情報
03営業所
04系統
05運行日
05祝日
06停留所
07路線別停留所
路線(原本)
路線(南北)

Ver2.3までの「02自治体」シートは 「02基本情報」 シートに変更となりました。

従来の項目に加え、「運賃情報URL」「提供組織名」「提供組織URL」項目を追加。
事業者・自治体がデータ作成する場合は、「事業者・自治体名」と同じでよいです。



GTFS-JP出力の場合は
このシートは現在使用して
いません。
入力省略可能です。

「03事業者」シートは
ver2.4から
「03営業所」シートに
名称が変更となりました

Ver2.3までの「03事業者」シートは 「03営業所」シートに変更となりました。

GTFSデータを作成するときは、このシートは入力を省略しても構いません。

4) 「04系統シート」に項目追加

A	B	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
No.	運行系統	切り替え前 行き先	切り替え後 行き先	変更箇所	F列(表示したい名称)の英語	H列(行き先)の英語	N列(切り替え前行き先)の英語	O列(切り替え後行き先)の英語	描画シェイプID	路線番号	往復
1	101 001			2018/10/1行き先変更	Fureai Bus 1 Nanboku Line	Hikarigaoka				10	往
2	101 002				Fureai Bus 1 Nanboku Line	Kodanjutaku Mae				10	往
3	101 003				Fureai Bus 1 Nanboku Line	Kodanjutaku Mae				10	往
4	102 001				Fureai Bus 1 Nanboku Line	Shiyakusho(City Hall)				10	復
5	102 002				Fureai Bus 1 Nanboku Line	Shiyakusho(City Hall)				10	復
6	102 003				Fureai Bus 1 Nanboku Line	Shiyakusho(City Hall)				10	復
7	201 001				Fureai Bus 2 Tozai Line	Nakyo Mae				20	往
8	202 001				Fureai Bus 2 Tozai Line	Nakyo Mae				20	復
9	301 001	東部支所	市役所		Fureai Bus 3 Shigaichi Line	Shiyakusho(City Hall)	Tobu Shisho	Shiyakusho(City Hall)		30	往
10											

「描画シェイプID」「路線番号」「往復」項目を追加。

「描画シェイプID」について

経路の描画データ（シェイプ）を作成する場合は、ここに作成した描画データのシェイプIDを記入します。

系統ごとにシェイプを作成している場合は、運行系統IDを記入します。

「路線番号」「往復」について

「路線」シートの「系統セット」を行うと、この項目は自動的にセットされます。

また、以前に作成作成した見える化共通入力フォーマットを取り込んだ場合も自動的にセットされます。

